



令和4年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年12月27日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <https://www.okaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 健広
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中島 孝次 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 令和4年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年2月期第3四半期の連結業績(令和3年3月1日~令和3年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年2月期第3四半期	709,222	27.1	17,139	82.8	21,540	61.7	15,491	68.7
3年2月期第3四半期	557,888	△16.1	9,375	△34.7	13,324	△24.3	9,184	△25.5

(注) 包括利益 4年2月期第3四半期 23,735百万円(105.4%) 3年2月期第3四半期 11,557百万円(△24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年2月期第3四半期	1,609.43	1,608.97
3年2月期第3四半期	954.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年2月期第3四半期	584,297	264,154	43.3
3年2月期	497,220	242,041	46.6

(参考) 自己資本 4年2月期第3四半期 252,737百万円 3年2月期 231,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年2月期	—	110.00	—	115.00	225.00
4年2月期	—	115.00	—		
4年2月期(予想)				115.00	230.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年2月期の連結業績予想(令和3年3月1日~令和4年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	920,000	21.0	20,000	47.2	25,000	36.6	17,000	36.8	1,766.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年2月期3Q	9,720,000株	3年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	4年2月期3Q	97,628株	3年2月期	94,305株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4年2月期3Q	9,625,318株	3年2月期3Q	9,625,872株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大や半導体供給不足の影響はありましたが、米国と中国を中心に緩やかな回復が続きました。日本経済は、個人消費は伸び悩みましたが、製造業の生産活動が底堅く推移しました。

このような環境において、当第3四半期連結累計期間における売上高は、7,092億22百万円で前年同期比27.1%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が483億45百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益が171億39百万円（前年同期比82.8%増）、経常利益が215億40百万円（前年同期比61.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は154億91百万円（前年同期比68.7%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、製造業向けを中心に増加しました。

特殊鋼部門は、自動車・産機・工作機械等の生産が回復し、国内外で増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、生産活動の回復に伴い、米国・中国・アジア向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、3,163億22百万円（前年同期比39.1%増）となりました。

(情報・電機)

非鉄金属部門は、銅・アルミ価格の上昇に加え、家電製品用部材及び車載用部品が増加しました。

エレクトロニクス部門は、樹脂材料等の不足による電気機器出荷減の影響はありましたが、車載部品、医療機器及び通信機器用部品に加え、半導体不足に対応した案件が増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、1,541億26百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

(産業資材)

化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、国内外での自動車関連及び国内の住設向けが増加しました。

メカトロ部門は、車載部品・工具類が増加し、航空機向け部材も回復傾向となりました。

産業資材セグメントの売上高は、1,937億79百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

(生活産業)

配管建設部門は、エネルギー関連は減少しましたが、分譲マンションの販売及び住宅機器向け部材が増加しました。

食品部門は、鶏肉の輸入取引が減少しましたが、水産物の輸入取引は横ばいでした。

生活産業セグメントの売上高は、449億93百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,842億97百万円となり、売上債権やたな卸資産の増加及び保有株式の株価上昇に伴う投資有価証券評価額の増加などにより前連結会計年度末に比べて870億76百万円増加しました。

負債は3,201億42百万円となり、仕入債務や借入金の増加などにより前連結会計年度末に比べて649億62百万円増加しました。

純資産は2,641億54百万円となり、その他有価証券評価差額金や利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて221億13百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績は予想を上回るペースで推移しており、令和3年9月30日公表の連結業績予想を修正いたしました。併せて個別業績予想も下記の通り変更しております。

令和4年2月期の個別業績予想（令和3年3月1日～令和4年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	21.8	10,500	45.6	16,500	30.8	12,500	33.5	1,297.62

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,794	15,370
受取手形及び売掛金	168,865	193,908
電子記録債権	38,519	44,759
商品及び製品	50,701	71,690
仕掛品	5,321	10,568
原材料及び貯蔵品	1,590	1,852
その他	10,967	17,280
貸倒引当金	△825	△1,020
流動資産合計	290,935	354,409
固定資産		
有形固定資産	44,308	53,671
無形固定資産	2,288	2,211
投資その他の資産		
投資有価証券	133,856	147,522
その他	26,092	26,744
貸倒引当金	△261	△263
投資その他の資産合計	159,687	174,004
固定資産合計	206,284	229,887
資産合計	497,220	584,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,618	108,411
電子記録債務	22,721	24,144
短期借入金	63,775	109,410
未払法人税等	2,266	3,209
賞与引当金	1,317	2,457
その他	11,518	17,729
流動負債合計	198,217	265,361
固定負債		
長期借入金	18,842	13,031
繰延税金負債	31,585	34,826
役員退職慰労引当金	979	1,101
退職給付に係る負債	2,351	2,423
その他	3,203	3,397
固定負債合計	56,962	54,780
負債合計	255,179	320,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	152,860	166,136
自己株式	△468	△500
株主資本合計	169,318	182,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,304	67,094
繰延ヘッジ損益	21	113
為替換算調整勘定	△36	268
退職給付に係る調整累計額	3,186	2,697
その他の包括利益累計額合計	62,475	70,174
非支配株主持分	10,247	11,417
純資産合計	242,041	264,154
負債純資産合計	497,220	584,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年11月30日)
売上高	557,888	709,222
売上原価	519,398	660,877
売上総利益	38,489	48,345
販売費及び一般管理費	29,114	31,205
営業利益	9,375	17,139
営業外収益		
受取利息	871	961
受取配当金	2,725	2,902
持分法による投資利益	177	1,660
その他	1,457	801
営業外収益合計	5,232	6,326
営業外費用		
支払利息	982	1,004
手形売却損	11	8
為替差損	—	668
その他	289	244
営業外費用合計	1,283	1,925
経常利益	13,324	21,540
特別利益		
固定資産売却益	136	55
投資有価証券売却益	243	60
負ののれん発生益	—	153
段階取得に係る差益	—	84
特別利益合計	379	353
特別損失		
固定資産処分損	30	4
減損損失	—	7
投資有価証券売却損	2	5
投資有価証券評価損	55	1
操業休止関連費用	177	—
特別損失合計	265	19
税金等調整前四半期純利益	13,438	21,874
法人税、住民税及び事業税	4,065	6,101
法人税等調整額	△61	△243
法人税等合計	4,004	5,858
四半期純利益	9,434	16,016
非支配株主に帰属する四半期純利益	250	524
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,184	15,491

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年11月30日)
四半期純利益	9,434	16,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,594	7,790
繰延ヘッジ損益	△120	92
為替換算調整勘定	△474	307
退職給付に係る調整額	△421	△493
持分法適用会社に対する持分相当額	△455	23
その他の包括利益合計	2,122	7,719
四半期包括利益	11,557	23,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,293	23,190
非支配株主に係る四半期包括利益	263	544

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 令和2年3月1日 至 令和2年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	227,349	116,741	172,218	41,578	557,888	—	557,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	447	1,950	310	1,051	3,759	△3,759	—
計	227,796	118,692	172,529	42,629	561,647	△3,759	557,888
セグメント利益	2,307	1,689	2,864	1,637	8,499	875	9,375

(注)1. セグメント利益の調整額875百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 令和3年3月1日 至 令和3年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	316,322	154,126	193,779	44,993	709,222	—	709,222
セグメント間の内部売上高 又は振替高	698	2,336	680	1,092	4,807	△4,807	—
計	317,021	156,462	194,460	46,085	714,029	△4,807	709,222
セグメント利益	5,309	3,641	4,901	2,336	16,189	950	17,139

(注)1. セグメント利益の調整額950百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。